

News Release



2022年2月17日

ご関係各位

スーパー耐久シリーズ 2022 のイメージガールが決定 「スーパー耐久 2022 SDGs アンバサダー『Swish(スウィッシュ)』」

この度、スーパー耐久シリーズ 2022 のイメージガールが決定いたしましたので、お知らせをいたします。

スーパー耐久シリーズは、カーボンニュートラルなモビリティ社会が形作られていく中、2022 年からは、より未来のモータースポーツの姿を追い求めてまいります。また、近い将来のクルマ社会に向け、引き続き実証実験の場等として広くフィールドを提供してまいります。

この度決定いたしました SDGs(イステイジーズ)アンバサダー「Swish(スウィッシュ)」は、スーパー耐久が考える SDGs(持続可能な開発目標)やパートナー企業の未来に向けたメッセージを、わかりやすい形で広く伝えていく役目も担ってまいります。具体的には、オウンドメディアである YouTube「S 耐 TV」や大会時のステージイベント等での出演を予定しております。

ユニット名の由来は、wish(願い)の頭にスーパー耐久や SDGs の「S」を付けた造語となっております。

皆様、応援の程、宜しくお願い申し上げます。



左:阿比留 あんな

中:宮瀬 七海

右:松田 蘭

■2022 年、スーパー耐久の考える SDG(持続可能な開発目標)



Japanese Endurance Race

Super Taikyu Organization(STO)/スーパー耐久機構事務局

〒107-0062 東京都港区南青山 6-14-11 ロジユ南青山 3-A

ケイツープラネット株式会社 モータースポーツ事業部内

TEL 03-6433-5607 <https://supertaikyu.com/> E-mail web@supertaikyu.com

News Release



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



2021年より「水素エンジン車」や「バイオディーゼル車」が技術開発の場としてチーム参戦

近い将来、ガソリン以外の燃料を使ったモータースポーツの実現に向けて

スーパー耐久のフィールドをエネルギーの実証実験の場として提供していくことは、スーパー耐久にとって社会的役割です。2022年シーズンも、メーカーの垣根を越えて未来に向けた挑戦が続きます。

12 つくる責任
つかう責任



メーカーやチームとタイヤとの未来について取り組んでいく

すでにタイヤ業界はSDGsに取り組んでいます。スーパー耐久としても「タイヤ摩耗による粉塵を減らしていく」「使用済みタイヤをサステナブルに管理していく」などの課題に向け、タイヤメーカーやチームと検討を重ねてまいります。粉塵の問題や天然ゴム資源の両面からも視点を広げ、近い将来に向けた議論を開始していくことが目標です。

14 海の豊かさを
守ろう



「陸上活動に由来する汚染から豊かな海を守る」という意識を関係者・チーム員と共有

2021年の鈴鹿大会では、ゴミを最小限に資源の分別を確実にするために、チームの協力を得て、パドック内のゴミ分別活動に取り組みました。特に問題視されているプラスチックを含む廃棄物の発生を抑え、再利用を促す活動等を検討し、できることから始めてまいります。

近い将来には、例えばレース時に注文する弁当の紙パック化等についても主催者と議論を深めます。

以上



Super Taikyu Organization(STO)/スーパー耐久機構事務局

〒107-0062 東京都港区南青山 6-14-11 ロジユ南青山 3-A

ケイツープラネット株式会社 モータースポーツ事業部内

TEL 03-6433-5607 <https://supertaikyu.com/> E-mail web@supertaikyu.com